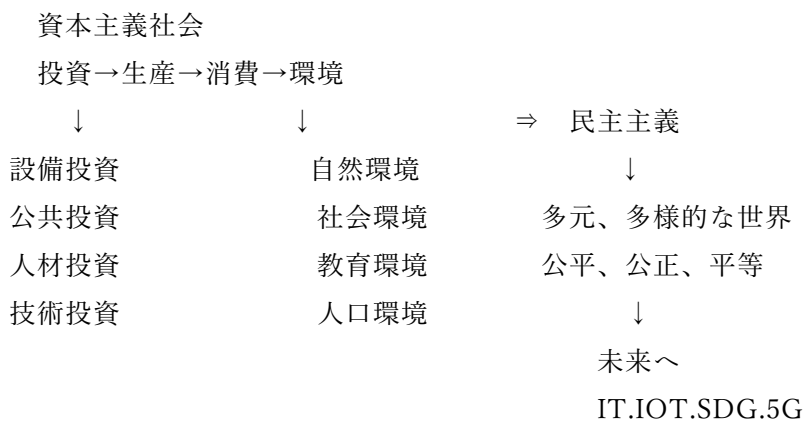


参加者：黒木、松田、中川、岩井、菅井、中塚議員、磯田議員、
石川公彌子、松崎、鈴木、山本、中山

今年もよろしく願いいたします。

- 議題 * 環境について 中川さんのお話
- * 中塚議員、磯田議員から環境について
- * 意見交換会

*黒木氏から話してほしいキーワード



<少子化労働力減少化の問題>

- *人口ピラミッドが中間層の減少となると生産する人口が少ないことを意味する。
- *世田谷区は一人住まいが約 50 %近い。
- *世田谷区役所の非正規雇用数が増えている。
- *学生は増えないが大学の募集は増える。
- *結婚しても子供の人数が希望の人数と違う。

<環境について>

- *23区の中でも広い世田谷ですが、人口が増えても良い状態なら子供にとっても「良い故郷」になる。
- *何事も「NO」と言わずに説得して妥協をしてでも折り合ってゆくと残してゆける。
- *みどり33というがエリアによっては45%の所もある。全体は25.6%。空き家対策について対応すると緑が増得る。庁舎問題も考えてほしい。
- *学校の先生方と仲良くなって自然教育を含めみどりの事を考えて行く。
- *イギリスのトラストを目標にしたが資金が足らなかった。土地を買うのに税金がかかるので諦めた。
みどり33応援団ができた。三ツ池など郊外の団体が見学に来る。土地の買い足しも考えている。
- *国分寺崖線の半分は人口河川。
- *今回の洪水は昭和41年の洪水で1200棟の床上浸水では川幅を広くした、平成17年鎌田の270棟羽床上浸水を踏まえて合流を部分から4つの住民団体、東京都、世田谷区との話合いができた。九州大学 島谷先生など河川づくりに月に一度打ち合わせしている。多摩川の堤防は東京都、河川は国、戦前から住んでいる方は居住権が発生している。
- *グリーンインフラシンポジウムを開いている。

<議員から>

- *大場元区長は区政に熱心でした。熊谷前区長は道づくりに熱心でした。保坂区長は外国との交換小学生、グリーンインフラにも熱心。
- *先日フィンランドまで行った。小学生の感想は男女が同等、自然がいっぱいなど感想あり、小学校では緑にあふれたアプローチが必要。
- *ウイーン 150 周年記念の交換会。都市のバランスが良い。緑がきれい。
- *個人宅や大型の駐車場の緑化がみどり 33 に近づく方法かと思う。

<意見交換>

- *校庭の半分を芝生にする。裸足で走れる。
- *カーボンニュートラルで落ち葉拾いを毎年している。落ち葉吹きは科学燃料と違う。
- *大人一人が co2 排出 10 トン、CO2 排出量年 10 トンに 50 年の松の木一本で年 14kg の CO2 吸収。
- *校舎には庇を大きく出し、南西側には落葉高木樹を植えて夏の日差しを遮る。
- *工業地帯のポートランドではグリーンインフラは国土交通省の始まりで緑化され土地の代金が上昇した。
- *住民の意見を通すだけでなく区と意見を交えないといけない。
- *自然の多いところで育ったので自然が懐かしい。高齢化を問題にするのではなく子供を中心とし 30 年後を考えてほしい。
- *オーストラリアの火災も報道が少ない。動物 10 億匹も死んでいる。日本の国土の 1/2 が焼けた。
- *若者はお金の事が心配。
- *温度が 3°C 上がるとメタンガスが永久凍土から溶け出す。海水の吸収が追い付かない。それにより台風が発生し易い。
- *子供の事が重要です。モラルが全体に低下した。
- *W カップの稲垣選手が芝の寄付をしたが理由はケガをしない為で校庭を緑化してほしい。
- *資本主義の投資は投資の中身が大切。
- *経済と環境はイコール。環境に重きを置く。
- *環境に重きを置く会社が良い会社となる。
- *本をたくさん読むとあらゆる関係が見える。明治維新の裏を読む。英国の影響、資本家の欲望。
「森林たちの知られざる生活」早川書店ペーターヴォールレーベン

次回については 3 月 2 日月曜日 黒木事務所にて午後 6 時より予定。